

保護者等向け 児童発達支援評価表

(保護者等の皆様へ)

この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	100%				
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%				
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	100%				
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%				
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%				
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	100%				
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	29%		43%	29%	
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	71%	14%		14%	
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	86%			14%	

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	71%			29%	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%				
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	71%	29%			
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	57%	14%	14%	14%	
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	100%				
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	100%				
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	100%				
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	100%				
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	57%			43%	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	100%				
	23	事業所の支援に満足しているか	100%				

※令和7年 2月28日現在 8名中7名回答

従業者向け 児童発達支援評価表

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

※職員数：11名 回答率；100%

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		・午前中は人数が少ないため、スペース的にはいいと思う。 ・座位保持椅子や立位台等の収納場所や感染時の隔離部屋が確保されている。 ・ベッドやマットを使用し、適切なスペースを確保している。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		・利用児が多い日は職員の配置数も多くなるようにシフトが組まれている。 ・職員の休み希望が重なり、人数が足りないことがまれにある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	91%	9%	・入浴介助に際して、こどもの安全、事故防止や職員の腰痛予防のため機械浴の導入が必要だと思う。 ・フロアからどこにいても利用児の顔が見れるように障害物がない構造になっている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	91%	9%	・段差がなくバリアフリーな空間で清潔である。 ・窓も大きく光も多く入り、風通しがいい。 ・マット上に利用児が寝ているのに、床もマットも同じ靴下や素足でそのまま過ごすのは不潔ではないのかと思う。マット上は清潔意識を持ってほしい。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		・療育活動における個別支援の際は、環境設定の上、個室をさらに活用するべきだとは思っている。 ・流腸や午睡が必要な際は、別室で実施して、利用児のプライバシーや休息を優先している（隔離部屋と同じなのでもう一つ部屋があったらいいと思う。）
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	91%	9%	・さらに進めるべきだと思う。 ・デイミーティングで必要時話し合っている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	73%	27%	・看護については保護者の意向に沿った看護を行っている。 ・保護者から意向があったら、その都度話し合いを行う。 ・ノートに結果を記入し、全員が把握できるようにしている。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	91%	9%	・ミーティングがなかなかできず、確認する機会が少ない。 ・話し合ったことをノートに記載し、周知している。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	64%	36%	・外部評価を行った結果から改善点等を理解し、改善の努力に努めている。 ・外部評価が行われているか把握していない。わからない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・看護協会の研修等、時間内で参加している。 ・法人外でも個人的に研修に参加できる用に努めている。 ・毎月の会社のミーティングで研修を受ける機会がある。 ・職種研修もできている。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		・年2回の個別面談前に事前アンケートをとり、計画案を作成している。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・担当制にし、計画に偏りがないようにしている。 ・多職種の意見交換がいつでもできる環境にある。 ・職員が意見を出しやすい環境にある。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	73%	27%	・個別面談後に職員に情報を共有し、話し合いを行っているが、計画に到達した際に、次のステップに進まず滞っていることがある。 ・利用児が朝からいるため、なかなかミーティング時間が取りづらい。 ・評価の時期が遅い。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	64%	36%	・標準化されたツールがなくインフォーマルなアセスメントと比較できていないため、子供の変化のスピード追いついていないと感じている。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	82%	18%	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		・児童指導員、セラピスト、看護師でチームを作り、行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	82%	18%	・定期的に見直し、新たなプログラムを立案しているが、研修等で内容を深めたいと思う。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	91%	9%	・活動のほかに、その日利用する児童に対して、個人の目標を立てている。 ・朝礼等で打ち合わせや確認は行ってはいないが、随時、支援内容、役割分担を変更し、支援に偏りがないように連携できている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	82%	18%	・前日に話すことが多い。朝礼等の打ち合わせは行ってはいないが、休みの職員にも情報が共有できるようにノートを作成している。 ・当日、職員の休み等に変更することもあるが、適宜状況を確認し、チームで連携できている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	55%	45%	・必ずできていない。 ・全体に周知できていないこともある。 ・気づいた点の情報共有や振り返りは遅いと感じている。 ・その日自分が担当していない児童もその日の担当者に聞くことができる。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		・記録はとってはいるが、情報共有は不十分だと感じており、システム化ができていないと感じる。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	91%	9%	・6ヶ月ごとの評価は児童発達支援管理責任者を中心におこなえている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・児童発達支援管理責任者と担当者1名が参画できるシステム作りはできている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	82%	18%	・他の事業所や教育関係機関との情報共有はできていないと感じる。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	45%	55%	・管理者等は行っていると思うが、情報共有はが密にできているかはよくわからない。 ・特別支援学校での支援内容等、情報共有などはできていると思うが、その他の保育園や幼稚園等とはできていないので、今後は子供たちの交流も含め情報共有ができていければと思う。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	82%	18%	・すべての児童においてできているかはわからない。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	64%	36%	・実地訪問の機会を設けたい。 ・保護者を通じて、サマリーや情報提供書をいただくことができている。

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	27%	73%	<ul style="list-style-type: none"> ・必要だと思いができていないが、今後は必要だと思う。 ・場所や時間がかぎられているため難しい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	91%	9%	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や送迎の際に伝達はできているが事業所としてどこまで踏み込んでいいのかかわからないところがある。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	46%	54%	<ul style="list-style-type: none"> ・アプローチ方法について周知できているが基礎知識(専門分野における)については情報共有はできていない。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	64%	36%	<ul style="list-style-type: none"> ・深く悩み等について伺う機会は少ない。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	64%	36%	<ul style="list-style-type: none"> ・開所し、2年目ということもあり、今後少しずつ交流の機会を設けていけるよう組み立てている途中である。 ・保護者やきょうだい児も参加する行事を行うことで交流ができる。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの訴えや相談については、可能な限り迅速に対応できるように心がけている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	91%	9%	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所用の携帯電話はあるが、撮影等のiPad等があれば、活動時に個人の携帯電話で写真を撮らなくてすむのではないかと。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	18%	82%	<ul style="list-style-type: none"> ・機会がなくてできていないが必要のことだと感じている。 ・利用児の保護者の方々とは行えているが、地域住民との運営事業はできていないと思うので、今後はできるように職員で考えていきたいとおも
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	55%	45%	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもたちの体調や状況に応じて、行ってはいるが、回数は少ない。 ・避難訓練の実施、感染症対策は周知を図っている。 ・マニュアルは作成しているが、家族には未周知。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	73%	27%	<ul style="list-style-type: none"> ・地震、火災等の状況(ケース別に)訓練が実施できればいいが、地震以外の想定がなかなかできていない。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	91%	9%	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	73%	27%	<ul style="list-style-type: none"> ・家族からの情報により対応を行っている。 ・成分表示の確認を徹底している。 ・個々の薬いれやトレーに服薬表示の工夫と一覧表を作成し、台所に掲示し、職員みんなが確認できるようにしている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	82%	18%	<ul style="list-style-type: none"> ・社内や事業所間で研修を充実させていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	64%	36%	<ul style="list-style-type: none"> ・家族には周知できていない。

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	82%	18%	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の連絡ノートを活用している。 ・ヒヤリハットは職員全員が目を通し、ミーティングの際に再発防止策を協議し、周知している。 ・会社全体の事業所で起こったヒヤリハットやインシデントも知り、同じようなことが起こった時の対処等呼びたい。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	82%	18%	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待などは絶対にあってはならないこと。こども中心に考え、情報共有を行い、研修参加も適宜行っていきたい。 ・会社全体で年1回は必ず研修を行っている。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	73%	27%	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画書に記載し、同意を得ている児童とそうでない児童がいるが、職員で話し合い、面談時等に同意は得ている。

(保護者等の皆様へ)

この放課後等デイサービス支援評価表は、放課後等デイサービス事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	83%		17%	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	100%			
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%			
適切 な支 援の 提 供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	100%			
	5	<u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	100%			
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	17%	58%	25%	
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	92%	8%		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	92%		8%	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%			

保護者への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	67%	33%		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	67%	33%		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	92%	8%		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			
	14	個人情報に十分注意しているか	100%			
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	92%	8%		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	67%	33%		
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	92%	8%		
	18	事業所の支援に満足しているか	92%		8%	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

※令和7年2月28日現在 13人中12名回答

事業所名		児童デイサービスめいほう				公表日	年 月 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	91%	9%	・座位保持椅子や立位台収納場所、感染時の隔離部屋の確保されている。	・今後利用児の成長とともにスペースの工夫が必要になる。 ・バギーや臥床で過ごす児童が多いので、もう少しスペースがあれば、動きやすく、安全に通わせるのではないかと思う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%			・利用人数多い日は職員も多く配置しているが当日病欠等で急な休みが入ると人数が不足することはある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	82%	18%	・ワンフロアのためこどもの顔が見える。	・入浴介助の際、こどもの安全、事故防止、職員の腰痛防止のため、機械浴の導入の必要性。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	82%	18%	・窓も大きく光も入り、風通しもよい。 ・どの角度からも一面見渡せる。 ・マット状で段差無く安全面を確保していると思う。	・バスタオルや布団を敷いているが、マットをなめたりする子がいるので靴下で歩くのは清潔に感じる。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	82%	18%	・デイルームの隣に個室があり、こどもの様子はわかる。 ・発熱時等の状況により隔離できる場所はある。	・感染リスクがある子と午睡室が一緒なのでわけたい。 ・個別支援の際に個室を使用したい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	73%	27%			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	91%	9%		・2年目であり、今から必要となってくる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	82%	18%		・利用児が朝からいるのでミーティングがなかなかできておらず、確認できる機会が少ない。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	55%	45%	・昨年、外部評価を導入し、評価を受けている。	・外部評価を把握していない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・毎月会社のミーティングや研修を受ける機会がある。 ・多職種の研修もある。 ・自分自身の向上にも努め、自己研修に積極的に参加している。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	82%	18%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	82%	18%			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・多職種の意見交換ができる環境にある。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	91%	9%		・評価が十分に行えておらず、時期も定まっていない。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	82%	18%		・ツールがなく比較ができないため、適切な評価につながっていないと感じる。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	82%	18%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	91%	9%	・定期的に見直し、プログラムを更新している。	・研修等に参加し、内容を深めたい。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	82%	18%	・随時、支援内容、役割分担を変更し、連携できている。 ・その日の支援内容がホワイトボードに表示されている。わからないことは専門職にきける。	・朝から打ち合わせはできていないので、朝礼等の機会を作りたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	55%	45%	・休みの職員も情報共有できるようにノートを活用している。	・毎回は行っていない。 ・タイムリーな振り返りから評価、再実行までの情報共有が遅い。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	82%	18%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	82%	18%		・こどもの反応を見て推測、予測に努めているが つつい先回りしてしまい、“待つ支援”ができていない時があるので、最小限にしたい。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・担当者を決めて児童発達支援管理責任者と2名で出席するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	91%	9%	・入学時の情報共有やサマリーの受け渡し等を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	91%	9%	・学校送迎時に状況の申し送り等を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	55%	45%		・こどもの背景を知っておくことで活動やリハビリの工夫、支援の方針決定等かわってくるので、情報共有できるのが理想である。 ・すべての児においてできていくかはわからない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	82%	18%		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	64%	36%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	36%	64%	・第4土曜日にイベントを通じてほかの家族やきょうだい児と活動が可能。	・地域の自治会に介入しているが、日程が合わず、子供会の行事に参加できない。学童との交流は難しいところがある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	27%	73%		・積極的にはできていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		・送迎時や連絡帳やラインにていつでも伝え合うことができる。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	45%	55%	・面談時にアプローチ方法について話している。	・基本的な機能の発達、基礎知識は情報共有できていないので、知るきっかけがあればもっと療育、リハビリについて興味をもってもらえるのではないかと思う。
関係機関や保護者との連携	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	91%	9%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	73%	27%	・送迎時や面談時に話しやすい環境作りを行っている。	・悩みについて深くうかがうことはない。 ・個人的な面談は行っておらず、事業所がどこまで関わっていけばいいのかわからない。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	82%	18%	<ul style="list-style-type: none"> ・第4土曜日にイベントを通じてほかの家族やきょうだい児と活動が可能。 ・今後少しずつ計画中。 	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・クレームとまではいかないが、保護者からの訴えについては可能な限り迅速に対応出来るように心がけている。 	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	91%	9%		<ul style="list-style-type: none"> ・会社用の携帯しかないので、ついつい個人の携帯で撮ってしまうので、iPadがあればいい。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	18%	82%		<ul style="list-style-type: none"> ・自治会に介入はしているが、行えていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	55%	45%		<ul style="list-style-type: none"> ・家族への周知はできていない。 ・子どもたちの体調や状況に合わせて行うので、訓練の回数は少ない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	73%	27%		<ul style="list-style-type: none"> ・火災の場合は想定できるが、地震の想定ができて、訓練実施が難しい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	91%	9%	<ul style="list-style-type: none"> ・契約の際に、母子手帳を確認し、予防接種の有無を確認している。 ・薬入れやトレーに服薬表示の工夫と一覧票を壁に提示し、職員みんなが把握できるようにしている。 	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	73%	27%		<ul style="list-style-type: none"> ・医師からの指示はもらっていないが、保護者からの口頭での確認のみ。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	73%	27%		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	64%	36%		<ul style="list-style-type: none"> ・家族への周知はできていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・全員に回覧し、ミーティングにて再発防止策を周知、検討している。 	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	91%	9%	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず社内研修で行っている。 	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	82%	18%	<ul style="list-style-type: none"> ・職員で話し合い、個別支援計画書に記載し、同意をえている。 		